

殺菌剤

グリン ペンコゼゴ®

®は登録商標

水和剤

マンゼブ水和剤



低コスト農業の切り札

優れた5つの特長!

Green Penncozeb



POINT

1

主要病害に優れた防除効果

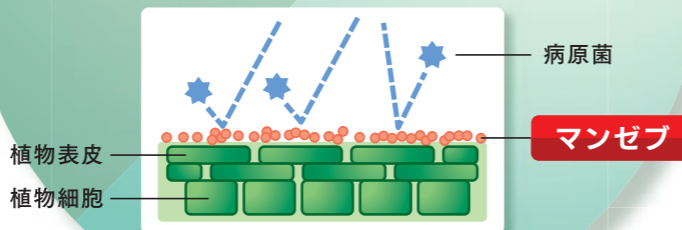
ばれいしょの疫病、てんさいの褐斑病、たまねぎの灰色かび病など、様々な病害に効果を示します。

POINT

2

予防効果に優れ、安定した効き目

グリーンペンコゼブの有効成分『マンゼブ』は、植物表面に付着して病原菌の感染を防ぐことで、予防剤として優れた効果を発揮します。



POINT

4

作物への薬害発生リスクが低い

病原菌へは強く作用しますが、作物への影響は少ないため、薬害の心配がほとんどありません。

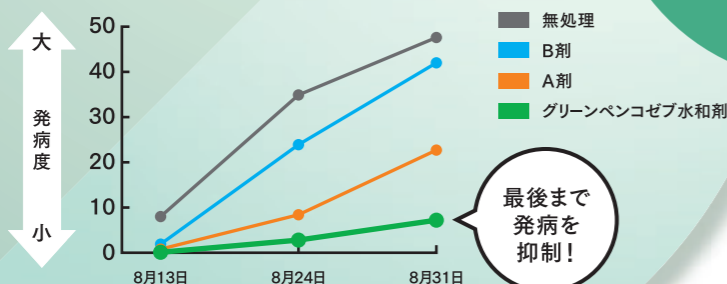
POINT

3

他剤に対する低感受性菌に対しても活躍

有効成分『マンゼブ』は病原菌のエネルギー代謝系を幅広く阻害するため耐性菌が発達しにくいと考えられており、これまで耐性菌の報告がありません。他剤が効きにくくなった病原菌に対しても安定した防除効果を示します。

てんさい褐斑病に対する防除効果



最後まで発病を抑制!

2018年 クミアイ化学工業株式会社(社内試験)
 供試作物:てんさい(品種 2K314)
 区制:1区5畝 7.66㎡(2.64m×2.9m) 3反復
 供試薬剤:グリーンペンコゼブ水和剤(500倍)、A剤(DMI剤)、B剤(DMI剤)
 薬剤散布:7日間隔散布(約7日間) 7/6、7/12、7/20、7/27、8/3、8/22
 発病状況:多発生(DMI剤低感受性菌が存在する条件)
 調査:各区30株について発病指数を調査し、発病度を算出

グリーンペンコゼブ水和剤はDMI剤に対する低感受性菌の存在下でも安定した防除効果を示しました。

POINT

5

「グリーンペンコゼブ水和剤」は日本のジェネリック農薬の先駆けです。

ジェネリック農薬とは?

特許が切れた農薬と同じ有効成分を持ち、必要なデータを揃えて新たに農薬登録を取得し、別の商品名で販売される農薬を「ジェネリック農薬」と呼びます。

ジェネリック農薬の長所

- 新薬の開発に必要な莫大な研究開発費を削減できることから、比較的安価に販売できる。
- オリジナルの薬剤と有効成分は同じ。
- オリジナル農薬の価格水準引き下げにも貢献します。

安い分、効果も劣ったりしないの?

いいえ、ご安心ください!

農薬登録を持つ作物・病害に対しては、各都道府県の農業試験場などの機関で試験し、防除効果と薬害を確認しています。

ジェネリックで確かな効果とコストの削減を実現します。
低コスト農業の強い味方!

グリーンペンコゼブ
水和剤

!! ご存じですか? !!

グリーンペンコゼブ®水和剤が使える 主な作物と病気

作物の病害防除は予防が基本!
幅広く使えるグリーンペンコゼブで
安心な低コスト農業は
いかがでしょうか?



てんさい



病害 褐斑病

特徴 下葉に淡褐色の円形小斑点を生じ、次第に大型化して被害が激しいと全体が枯死する褐斑病。近年では一部の主要剤に耐性菌が確認され問題になっていますが、そんな褐斑病対策はグリーンペンコゼブにおまかせください。耐性菌が発生しにくいので、近年の褐斑病耐性菌対策の救世主としてさらに期待が集まっています。

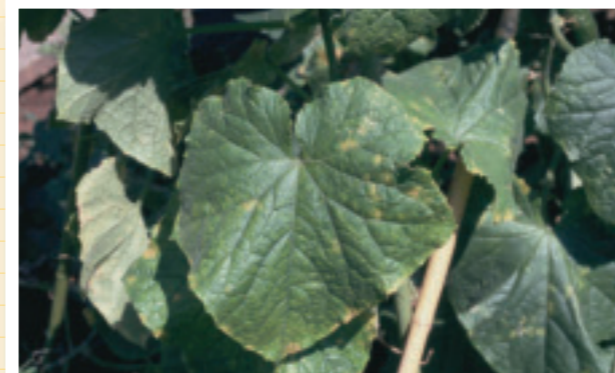
ばれいしょ



病害 疫病 / 夏疫病

特徴 はじめは下葉の先端や葉縁に黄色の小斑点を生じ、次第に斑点は暗褐色となりながら巨大化し、葉裏には白いカビが発生する病徴の疫病。罹病した葉は破れたり腐敗するほか、茎、イモにも発生し、時に甚大な被害を起こします。この最重要病害対策にぜひご使用ください。葉に黒褐色の不規則な斑点を生じる夏疫病にも使えます。

きゅうり



病害 褐斑病 / 黒星病 / 炭疽病 / ベと病

特徴 初期は淡黄色、その後は中央が灰褐色の不整形病斑が主に葉に生じる褐斑病。果実では暗緑色の円形斑点を生じ、褐変、奇形となったり、葉にヤニを生じさせ、枯れて表面に黒いすす状のカビがでる黒星病。葉、果実、茎に斑点を生じる炭疽病。小斑点からはじまり、葉脈に囲まれた多角形の黄褐色病斑を生じるべと病。これらきゅうりの主要な病害に収穫前日まで使えます。

かぼちゃ



病害 疫病 / ベと病

特徴 葉、茎、果実に発生するかぼちゃの疫病。葉では暗色水浸状の円形病斑からはじまり、やがて拡大して軟腐します。茎では黒褐色に変色し、果実では水浸状病斑ののちに汚白色のカビを生じ、内部は腐敗してしまう厄介な病気です。そんな疫病にぜひご活用ください。べと病にも適用があります。

たまねぎ



病害 ベと病 / 灰色かび病 / 黒斑病

特徴 春に降雨が多いと多発するべと病、葉に紡錘形や楕円形をした汚白色の病斑を生じる灰色かび病、はじめ葉や花梗に淡褐色の病斑を生じ、その後窪んだ暗紫色を経て同心輪紋を形成する黒斑病。これら多湿下で発生しやすい厄介な病害にも有効なため、各地で活用いただいています。

あずき



病害 さび病

特徴 小斑点が生じたのちに隆起し、そこから赤褐色の粉を生じるさび病。そんなさび病にも使えます。当初はグリーンペンコゼブの適用作物になっていませんでしたが、皆様のご要望にお応えして適用拡大しました。ジェネリック農業のグリーンペンコゼブの活用であずき防除の低コスト化が実現できます!

メロン



病害 つる枯れ病 / ベと病

特徴 主に茎が侵されるつる枯病。はじめは灰緑色の病斑が形成され、ヤニを生じます。ヤニは乾いて赤褐色から黒褐色に変色し、病斑上には黒斑点を形成します。葉で発生すると、V字型、褐色の大型病斑となり、枯れることもある病気ですが、これもグリーンペンコゼブで対処できます。葉脈に囲まれた不整多角形の黄色斑点からはじまり、やがては黄褐色となって重度の場合は枯れあがるべと病にも適用があります。

キャベツ



病害 ベと病

特徴 葉の周縁部に不明瞭な淡黄緑色の斑点を生じ、次第に葉脈に区切られた病斑となったら、べと病かもしれません。その後の病徴としては病斑の裏側に汚白色のカビを生じます。キャベツにつきものの病気とあきらめることなく、ジェネリック農業のグリーンペンコゼブで防除が可能です。

皆様のご要望のお陰で ここまで適用が 増えました!

販売当初はばれいしょやてんさい、たまねぎ、だいずと少数の登録でしたが、皆様のご要望にお応えして登録拡大し、現在はかぼちゃやあずきなど、多数の品目で活用できます。



キャベツのべと病にも使えるのね!



厄介なたまねぎべと病や黒斑病、灰色かび病にも使えるよ!



てんさい、ばれいしょ、たまねぎ以外にもたくさんのお作物に使えるんだね!



作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	べと病	400~600倍	100~300L/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内	
はくさい	黒斑病 白斑病 べと病	600倍			1回		1回	
かぼちゃ	疫病 べと病			2回以内	2回以内			
きゅうり	褐斑病 黒星病 炭疽病			600~800倍	収穫前日まで		3回以内	3回以内
	べと病							
すいか	褐色腐敗病			600倍	収穫7日前まで		7回以内	7回以内
	炭疽病 つる枯病			400~600倍				
メロン	つる枯病 べと病			500倍	収穫終了後 (但し、秋期まで)		5回以内	5回以内
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病						6回以内	6回以内
たまねぎ	黒斑病 灰色かび病 べと病			400~600倍	収穫3日前まで		5回以内	5回以内
ねぎ	黒斑病 さび病 べと病		600倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内		
		収穫30日前まで						
あずき	さび病	400倍	100~200L/10a	収穫45日前まで	10回以内 (但し、無人ヘリ散布は3回以内)			
だいず	べと病	400~600倍	100~300L/10a	収穫7日前まで		10回以内		
ばれいしょ	疫病 夏疫病				100倍		25L/10a	
	てんさい	褐斑病	400~600倍	100~300L/10a	収穫21日前まで	5回以内		
125倍			25L/10a					



ねぎにだって登録があるよ

はくさいにも使えるんだ!

2020年7月現在

使用上の 注意事項 (抜粋)

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用は避けてください。
- ボルドー液との7日以内の近接散布は、葉害を生ずるおそれがあるので避けてください。
- 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に葉害の出るおそれがあるので注意してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
(保管) 密封し、直射日光を避け、冷涼な乾燥した所で、食品と区別して保管してください。

- 使用前はラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- 防除日誌に記帳しましょう。